

本田種竹 はたけ たけ 漢詩人。文久二年六月二十一日阿波國生乳、明治四十年九月二十九日歿（二六二一九〇七）。諱秀、字實卿、通稱幸之助、本田幸。別號夢花居士、新南里散人、種竹居士、種竹山人、種竹道人。岡本午橋、のち江馬大江、頼文峰等と學ぶ。明治十七年上京、東京府御用掛、二十四年東京美術學校教授、二十九年文部大臣官房祕書、次つぎに内務省に轉じ、二十七年退官。詩人として夙もとに名を成し、森春涛、正岡子規等とこと交遊。二十九年自然吟社を興す。

著書 のち 名家文話（第壹編）『（本田幸之助名、合著・内田鐵二郎編、

明治二十二年五月十日鐵華書院）、種竹山人枕上吟―拊諸家追悼詩』（明治四十一年五月十八日本田常一編輯）等。